

埼玉  
県議会

# 9月定例会が閉会

## 庶民の立場で全力

埼玉県議会9月定例会が10月16日に閉会しました。

公明党からは福永信之議員と石渡 豊議員が一般質問を行いました。また、常任委員会および特別委員会でも公明党県議団は庶民の側に立ち、積極的に質疑や意見提言を行うなど県民の声を県政に反映すべく全力で取り組みました。



福永 信之 議員

福永議員は、知事2期目の基本姿勢、県立特別支援学校の放課後児童クラブ、不登校の未然防止、妊婦の無料検診、分べんにまつわる諸問題、児童養護施設、児童相談所の体制、障害者

手帳の統一などについて一般質問しました。

養護学校など特別支援学校に通う児童のための放課後児童クラブは学校施設内になく、父母にとって著しい困難を強いている現状を質したのに対し、教育長から「新たに設置を計画している特別支援学校の施設や敷地を活用できないか検討する」との前向きな答弁を得ました。実現すれば画期的な前進です。



石渡 豊 議員

石渡議員は、県庁における知的障害者の雇用、救急医療体制、埼玉県救急医療情報センター、病児・病後

児保育、電子カルテの県立病院への導入、自動車税の口座振替などについて一般質問を行いました。

小児第2次救急病院の夜間診療の混雑緩和を実現するため、地域の診療所の小児科医による応援体制を提案したのに対し、保健医療部長は病院に勤務する小児科医が不足している状況において、「地域の開業医の協力によるシステムは有効な手法の一つと考える」と答弁、早期実現に向けて動き出しました。

公明党  
県議団

# 意見交換会を開催

産業・福祉など25団体と

公明党県議団は9月27日、28日の両日、各種団体と意見交換会を開催しました。産業団体や福祉団体など合計25団体から県の施策や予算についての要望を聞くとともに、公明党の政策や実績などについても語り合う有意義な会議となりました。団体から寄せられた要望は10月16日に行われた予算要望の際に知事に提出、早期実現に向けて申し入れ行いました。

参加団体は以下のとおりです。

- 〔産業団体〕▽埼玉県商工会議所連合会▽埼玉県医師会▽埼玉県電業協会▽埼玉県行政書士会▽全埼玉私立幼稚園連合会▽埼玉県ビルメンテナンス協会▽埼玉県建設産業団体連合会▽埼玉県環境安全施設協会▽埼玉県商工会連合会▽埼玉県弁護士会▽埼玉県建設業協会▽埼玉県中小企業団体中央会▽埼玉県日中友好協会▽埼玉県電気工事工業組合▽埼玉県私立保育園連盟〔福祉団体〕▽埼玉県児童保育連絡協議会▽埼玉県腎臓病患者友の会▽日本自閉症協会埼玉支部▽全国脊髄損傷者連合会埼玉支部▽筋ジストロフィー協会▽埼玉県障害者協議会▽埼玉県発達障害福祉協会▽埼玉県膠原病友の会▽埼玉県難聴者・中途失聴者協会▽埼玉親の会「麦」(LD児)。

## 埼玉県障害者雇用サポートセンターが開設

障害者を雇用したい企業に対して、具体的な業務内容や採用後の対応などのノウハウを提供する「埼玉県障害者雇用サポートセンター」が5月28日、さいたま市浦和区の浦和地方庁舎別館にオープンしました。

障害者雇用を専門に企業支援を行うのは都道府県レベルでは全国初です。企業支援をはじめ、障害者雇用に理解のある企業どうしのネットワークを構築、さらなる雇用拡大をめざします。

公明党県議団は、かねてから障害者の雇用拡大を図るため、様々な視点から要望・提案を重ねてきました。そのひとつが結実しました。



福祉団体と意見交換